

会議等の意見対応

■第1回地域公共交通会議（2025.5/27）

議題	№	質問・意見	回答・対応
2. 議事（報告事項） （2）報告第2号 令和6年度かもめバス利用状況について	1	・周遊券の販売枚数が前年比を割れているが、近鉄のぶらりすとの数字が聞きたい。（藤原委員）	・令和6年4月から販売し、周遊券の枚数は127枚である。それをプラスした状態であっても3855枚で、前年度よりも少なくなっている。（事務局）
	2	・ポケモンの周遊券におまけはつかないのか。（今井委員）	・おまけはないが、券自体がお得で1日券と2日券がある。大人、子どもでデザインが違う。出だしは好調だったが、もう少しPRが必要。（事務局）
	3	・シンフォニアテクノロジーのバス停利用者が減った原因はわかっているのか。（森委員）	・原因は深くはわからない。前年が80名程度、6年度は20名程度になった。通勤方法を変えたのか、辞められたのか、そこまでわからないが、そこに大きな要因があるのではないかとこのところまでは分析した。（事務局）
	4	・伊射波神社はどのぐらいの入れ込みがあるのか。（加藤委員）	・統計的な数字はないが、人気が出てきている。問い合わせも多く、ウォーキングするような観光のニーズの変化に対応している。今後も微増していくのではないかと。（高浪委員）
	5	・停留所の名前に伊射波神社と入れるといいのではないかと。 ・回数券と周遊券が減ってきている。公共交通を使って来れることもできるということをPRしていくということも考えたほうがよい。（加藤委員） ・ハッピーチケットは毎回100円引きで得である。PRをやっていかなければいけない。 ・1日、2日乗車券は枚数毎にデザインを変えていくといいのではないかと。	・ぜひ反映していきたい。（会長）

議題	№	質問・意見	回答・対応
		ミジュマルはお金がかかる可能性もあるが、デザインが変わることによってまた鳥羽に来たいと思わせる。（加藤委員）	

(2) 報告第2号 令和6年度かもめバス利用状況について	6	・ミジュマルデザインの周遊券をコレクトしたいという人もたくさんいるのではないかと。PRするなど、出張販売するということもぜひ考えてはどうか。(矢野委員)	
	7	・伊射波神社はインバウンドの方には結構ウケるのではないかと。行きにくい、うまく宣伝すれば行ってもらえるのではないかと。(会長)	
(3) 報告第3号 令和6年度鳥羽市定期航路事業の状況について	8	・資料のP.8、6年度の旅客と荷物の移送実績、これも4月から3月でよいのか。(中村委員)	・そうである。(事務局)
	9	・昨年度、中野郷棧橋の廃止があり、周遊券の伸びがあり、定期券が減とあるが、その影響でわかることがあれば教えていただきたい。(中村委員)	・神島の乗客数が増えた要因は、工事があり、業者が何度も行き来した。一般乗船料、人数は減ったが料金が増えているという逆転現象が起きている状況もあり人数は微減という形になっている。(事務局)
	10	・中野郷航路がなくなり、駐車料金が高くなった。もともと離島に住んでいた者としては、駐車料金が免除される方法があれば地元に戻りやすくなるのではないかと。(中村委員)	
	11	・中野郷に置いたままバスで行くこともできるのか。(会長)	・乗り継ぎ割引券がある。佐田浜から中野郷までのバスは無料の券がある。(事務局)
	12	・乗継割引券の使い勝手が非常に悪い。バスのダイヤも悪い。(中田委員)	

(3) 報告第3号 令和6年度鳥羽市定期航路事業の状況について	1 3	・佐田浜の駐車場は260台となっている。観光シーズンだと足りなくなる。近いところは料金が安い。遠いところはバスで乗り継がなければいけない。時間はかかるが駐車場料金が安いという選択があることを示した上で、駐車場を整備していくということはあり得る。 ・駐車場を安くするということならできるが、使いたい人が使えないことになってしまわないように施策を考えないといけない。外から来る人も行きやすくするという情報提供もやらなければいけない。内宮へ行く場合も、違う駐車場は遠くなるので、そこを結ぶ交通機関も考えていかなければいけない。 離島に行きやすくするという観点から、一体何をしなければいけないか、いろいろ考えないといけないと思う。(加藤委員)	・しっかり意見を賜り、住民、観光客に不便がないように少しでも改善していきたい。(事務局)
3) 報告第3号 令和6年度鳥羽市定期航路事業の状況について	1 4	・ミジュマル公園に公共交通で来たら、なにかサービスがあるといい。(加藤委員)	
(4) 報告第4号 かもめバスのバス停移設について	1 5	・佐田浜のバス停の前に市民が利用できる待合をするスペースがあるが、いつもそこに業者の車がずっと駐車している。お客、荷物を降ろすときにそのスペースが使えない。(清水委員)	・三重県志摩建設事務所がラインを引いてくださった。それを見て止める方が気をつけていただけるように、声をかけるようにさせていただきたい。(事務局)
	1 6	・定期船の着く時間に合わせて乗り降りする人の行き来が激しい。車が入っていくと死角になるので、信号機をつけることはできないか。(山本委員)	・建設課には壁のところを見やすいようにという要望はさせてもらったが、予算の関係もある。事故がないように引き続き早急にやってもらうように要望していきたい。(事務局)
	1	・バス停の移設について、事前に運輸	・承知した。(事務局)

	7	支局のバス担当にご相談いただきたい。（森委員）	
3. 議事（協議・承認事項） （1）議案第1号 令和6年度地域公共交通会議の事業報告及び決算について （2）議案第2号 令和7年度地域公共交通会議の事業計画及び予算について （3）議案第3号 鳥羽市地域公共交通計画の進捗評価及び実施計画の見直しについて	18	• やっていること自体が物足りない。具体的なことをやっているのであれば書いてほしい。 • 鳥羽バスセンターは殺風景である。例えば路線図や、運賃、俯瞰図、大きな地図など、貼ってみてはいいのではないか。 • チェックシートをもう少し埋めていくような作業を計画策定の中でやられたらいいのではないか。（加藤委員）	• 次年度の令和7年度の評価については、具体的な内容を記載するような方向に努めていきたい。（事務局）
（4）議案第4号 鳥羽市地域公共交通計画の改訂について	19	• P.33の市民アンケート調査について、これは離島も入っているということでしょうか。（中村委員）	• 入っている。（事務局）
	20	• 調査項目の中に、定期船で行きたい、行ってみたい場所と、自宅最寄りの定期船乗り場を入れてもよいのではないか。（中村委員）	• 意見を踏まえて、市民アンケートに必要な事項を盛り込む。（事務局）
	21	• 宿泊者に対する観光アンケートについて、日帰り観光客も対象か。（森委員）	• 日帰り観光客も対象として、広く観光アンケートとして実施したい。鳥羽市観光協会等、観光関係者の意見を踏まえながら設計していきたい。（事務局）
	22	• 基本方針について、公共交通によって一体何を実現するのかというのはどうやって検討するのかという視点が今の説明では全くない。上位計画の目標から公共交通だと何が寄与できるかということを考えなければい	• 基本方針の件については、10月の会議にたたかれ台をお示ししたいと思っている。アンケート、関係事業者へのヒアリングの話があったが、実効性をどのようにするのかという観点で伺いたいと思っている。

		けない。 ・交通事業者へのヒアリングは、本音の意見を言っても、それが施策にどうつながっていくかというのはやらなければいけないところである。（加藤委員）	・総合計画と鳥羽駅の再整備を担当しているので、整合を取りながらやっていきたい。進め方などについては委員にも相談しながら進めたい。（事務局）
（４）議案第４号 鳥羽市地域公共交通計画の改訂について	2 2	この計画については離島のことも十分考えられていない状態である。市民アンケート調査というのはほどほどにして、懇談会やワークショップをやっていかなければいけないのではないか。総合計画策定のときに住民懇談会的なものはあるのか。その中で交通を議論するということもあってもいいと思う。（加藤委員）	
	2 3	・船員が魅力的な仕事になるように、総合計画で本腰を入れてやらなければいけない。 ・定期券が高校生に対して一番売れているのは答志島である。本土との行き来が一番多いところのはずなのに、そこをどのようにしていったらいいかというビジョンがなく、これは離島だからしょうがないと思っている。この計画で今できることは何かを考えなければいけない。総合計画やほかの計画で意見交換するところの機会も含めてどのようにやりとりするのか、１回見取り図を描かれたほうがいいと思う。交通で何をやっていかなければいけないかというのは、そういった議論が前段にあってほしいと思った。（加藤委員）	
	2 4	・今回の公共交通計画の改訂という言葉について引っかかっている。どういうスタンスで臨もうとされているのかを確認したい。（会長）	・法定計画なので、法律上、定められた事項を記載する。（事務局）
	2	・内容の話。意気込みの話。（加藤委	・現行の計画は観光的な視点や、交通

	5	員)	結節機能をどううまく利用していくのかというところがやや弱いと感じているので、鳥羽らしくまちづくりを進めていくという意味では実効性のある計画を作りたいと思っている。そういう意味では新たに作るという気持ちで臨みたい。（事務局）
（４）議案第４号 鳥羽市地域公共交通計画の改訂について	26	・公共交通と関連して、ある程度のビジョンを示していないと、逆にこのタイミングで何のためにやるのかということがあるのかなという感じがする。 ・将来の公共交通をどうしていきたいかというビジョンを示した上でアンケートをしていかないと、意味合い的どうなのかという感じがしている。 ・できる範囲でいいので、ビジョン的なものを各委員に、こういうことを踏まえた形でやっていきたい、こういうことを目指した公共交通計画をやっていくのだというのを皆さんにお示しさせていただかないと、次回からの会議がうまくいかないのではないかなという感じがする。（会長）	・議論をいただくにはビジョンが必要だということは我々も認識していて、重要だと思っている。事務局としてのビジョンを次回の第２回の会議を予定しているので、その場ではしっかりビジョンをお示しできたらと思う。（事務局）
	27	・それに関しては異論がある。今まで公共交通計画を積み上げてきたわけである。問題点も一定明らかになっているので、その辺のビジョンは書けるのではないかな。（会長）	・今回評価をいただいたような内容は一定整理をさせていただいて、アンケートやさまざまなものを踏まえたものを９月にお示しするのが最も円滑であると思っている。（事務局）
	28	・生き残り戦略としても考えていく中の１つの要素、ファクターとして大切なものだと思う。それは一定あるのではないかなと思う。（会長）	
	29	・この計画策定の中でビジョンが一番大事である。そのことを議論することに、例えば前半に何回か分科会を作るとかあったほうがいい。住民、	

		事業者、庁内でもいろいろあると思う。そういった設計があることでみんなが意識共有できて、次に実現しようとしたらそれぞれが何をやらなければいけないなどの事業のリストが出てくる。改善しなければいけないというのが出てくる。議論が行われ、結果的にビジョンが固まるという、そのプロセスが大事。（加藤委員）	
	30	・ワーキングは作れないか。鳥羽校の学生たちに観光案内を作ってもらったときにもそういったグループがあったが、今回も作れないか。（今井委員）	
（４）議案第４号 鳥羽市地域公共交通計画の改訂について	31	・今ちょうど大きな計画が並行して動いている。それぞれにワーキンググループを作るとなかなか難しい部分がある。そこはうまく有機的に、どちらにも意見が聞けるようなものを作りながらやっていくほうがいいのかと思う。（会長）	・ワーキンググループではないが、公共交通会議の場自体が本当に大事な場だと思う。ここの場を有効活用させてもらいたいと考えている。 ・現行のところを生かしつつ、今後５年間の計画を作っていくというのを順次説明していきながら皆さんにご意見をいただくことができたと思う。 ・４回という会議にしているが、もう少し会議が増えるのではないかと考えている。（事務局）
	32	・取り組みの姿勢みたいなものが示せるかなと思ったので、ペーパー１枚でもいいから作ってはどうかと言ったつもりである。それはどうか。（会長）	・現行ある可能な範囲で作らせていただくという理解でよいか。誤ったところもあるかもしれないが、必要な限りさせていただきたい。（事務局）
	33	・地域公共交通計画についてはこの会議体の中で議論していくわけなので、スタンス的なものがあつたほうがいいと思っている。（会長）	
	34	・個別の事業のところは、３号議案のシートを使って見直すという形で考	

		えてほしい。（加藤委員）	
（５）議案第５号 地域公共交通確保維持事業に係る計画について	35	・宿泊の送迎バスの維持や継続が厳しくなるということで、検討してもらうのはいいことだと思うが、中部運輸局の情報として持っていれば教えていただきたい。 ・共助的ライドシェアは許認可が要らないと思うが、そういった活用の仕方などの情報はるか。（矢野委員）	
	36	・国からお金をもらうために出す書類がこれでいいのか。（加藤委員）	
	37	・地域公共交通確保維持事業に係る計画、軽微な変更等があった場合には運輸支局と事務局のほうで調整して修正していただくことをご了解いただきたい。（森委員）	・運輸局からのご指摘も踏まえてやらせていただく。（会長）
（６）議案第６号 生活交通確保維持改善計画の作成について	38	・議案６号の「生活交通確保維持計画」という名称、今は「地域公共交通確保維持改善計画」になっている。ご確認いただきたい。（森委員）	・修正する。（事務局）
４．その他 （１）伊勢湾フェリー株式会社の会議への参画について	39	・伊勢湾フェリーから公共交通会議に入りたいというご意見をいただいている。次回の会議に入っていただくことをお諮りさせていただきたい。（事務局）	・その方向で進めさせていただきたい。（会長）
（３）ミジュマル公園オープンに伴う対応について	40	・ミジュマル公園が７月に完成する予定である。夏休み期間の渋滞が予測される。一旦対処療法的に島民の駐車場の位置や、警備員を配備するとか、別途臨時駐車場を開設するということを市としては考えている。具体的には予算が確定したらご周知させていただきたい。（事務局）	・大原則として離島を含めて、皆さんになるべくご迷惑をかけないようにということと公共交通機関を利用していただくようなPRを精力的にやっていきたいと思っている。（会長）
	41	・ミジュマル公園は三重県の公園なので、三重県の政策についてもお聞きしたい。（高浪委員）	・ミジュマル公園については流域課がやっている。詳しい情報はお伝えできない。こちらに直接お問い合わせ

			いただき、流域課のほうに報告しておく。（山下委員）
4 2	・三重県と連携しながら渋滞緩和や離島の方にご迷惑をかけないように、安全対策をやっていきたい。（高浪委員）	・ぜひその方向でお願いします。（会長）	
4 3	・この会議を通さなくてもできる仕組みが共助型ライドシェア。会議にかけなくてもできるから勝手にやればいいというだけだと後が続かなくなることには注意してほしい。あまり形から入らないほうがいいと思っている。相談いただくと具体的に提案できると思う。（加藤委員）	・個人の判断で進めるのではなく、個別にご相談いただいた上でお願いしたい。（会長）	